



お父さん、お母さん ひとりで悩まないで

妊娠期から青少年期まで

3つの相談窓口で子育てを応援

子育て中に「誰かに相談したい」「なんとなく不安」「誰でもいいから話を聞いてほしい」と思ったことはありませんか。市では、平成31年4月に「子ども・未来部」を新設し、妊娠期から青少年期まで子どもに関する諸課題を一体的に解決する体制を整備しました。あわせて子どもに関する相談窓口の集約と機能強化を図り、身近で気軽に相談できる体制を整えています。ひとりで悩まず、ご相談ください。あなたと一緒に考えます。



1 チャッピーサポートセンター (子育て世代包括支援センター)

559-5093 FAX 563-3611 市役所本庁舎2階 チャッピーサポートセンター 月～金曜 9時～17時30分

559-6288 FAX 559-5705 総合福祉保健センター2階 チャッピーサポートセンター 月～金曜 9時～12時、12時45分～17時30分

妊娠・出産期から主に就学前までのお子さんごとご家族の悩みを保健師・助産師がお聞きします。就学前児の発育・発達には個人差が大きく不安になりがちです。まずはお気軽にご相談ください。なお今年の4月から、総合福祉保健センターに加えて、市役所本庁舎2階でも相談できます。

2 家庭児童相談室

559-5076 FAX 563-3611 市役所本庁舎2階 家庭児童相談室 (相談電話は土・日曜、祝日を含む24時間対応)

18歳未満のお子さんに関する悩みを専門の相談員がお聞きします。ご家族に限らず、お子さん本人、近所の人や学校など、どなたでも相談できます。なお、相談内容により必要に応じて他の関係機関をご案内します。



3 青少年相談

563-1110 FAX 563-3611 市役所本庁舎2階 青少年育成センター 月～金曜 9時～17時

青少年が日ごろ抱えている悩みを、専門の相談員がお聞きします。勉強・友だち関係・男女交際・学校生活・進学・就職・性の問題など、悩み、心配、誰かに聞いてほしいことがあれば、お気軽にご相談ください。なお今年の4月から、青少年相談の窓口は、市役所本庁舎2階に移転しました。

— こんなときには相談を —

- 赤ちゃんが寝ません。ずっと泣いているけど大丈夫ですか。
● 同じ月齢の子に比べて、言葉が遅いような気がして心配。
● 妻が育児疲れのようです。どうやってサポートすればいいですか。
● 離乳・卒乳の仕方が分かりません。



— こんなときには相談を —

- 育児やしつけに困っています。
● 病気・出産・育児不安などで子どもを養育できません。
● 友達とうまくつきあえません。
● いらいらして手をあげてしまいます。
● (兄弟姉妹など)家族関係がうまくいきません。

— こんなときには相談を —

- 親が干渉するのでストレスが溜まります。
● 友だちがいじわるをして遊んでくれません。
● 朝ごはんが無く、学校でお腹が減ります。
● 学校がつまらなくて行きたくない。
● クラスで自分だけが孤立しています。
● お金に余裕がなく、進学はあきらめたほうがいいのでしょうか。

「乳幼児期の子育て」について、市民の皆さんと共に考え、共に応援していきたいと思えます。子どもたちの未来のために大切な「乳幼児期の子育て」について、市民の皆さんと共に考え、共に応援して

私は、「乳幼児期の子育て」について次のように考えています。(1)まず、核家族化などで身近な相談相手がなく、育児に不安を持たれている保護者をサポートする必要があります。そのため、妊娠期から子育て期(就学前まで)のワンストップ相談窓口であるチャッピーサポートセンターの拡充(現在の2カ所から4カ所)を目指しています。

この春は、幼い子どもたちを抱えるご家庭にとっては、戸惑いの日々だったことと思います。外出自粛に伴う在宅勤務などで子どもたちと接する機会が増えたことから、多くの方々が子育ての大切さを再認識されたようですが、一方、ストレスを感じられた方もおられたと思います。今回を機に「乳幼児期の子育て」を改めて考える機会となったのではないのでしょうか。

子どもたちの未来のために共に考え、共に応援しよう



三田市長 森 哲男

市長の「ほっとネットワーク」 森のひと言